

子育てが
しやすいまち

シリーズ“暮らしつづけたいまち”を目指して

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。
“私が暮らしつづけたいまち”と思えるまちを目指した4つの基本概念(コンセプト)
の取り組みを毎月紹介しています！

問／政策企画課 463-3081



すっかりと晴れた12月のある日、落ち葉を踏みしめる感覚やサクサクという音が耳に心地よいのか、子どもたちは木々の合間を楽しそうに走り回ります。木登り、どんぐり拾い、秘密基地づくりにボール投げと、思い思いのあそびに勤しみます。



ここは、朝霞駅南口から徒歩約10分の市の中心に位置する、約3haの基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」です。月に数日は、NPO法人による子どもたちの遊び場「プレーパーク」も開催されています。カナツチ、ノコギリを使っての廃材や竹の工作、たき火をおこし、持ち込んだ食材を調理しての青空ランチなど、この広場がオープンした当初から広場の一角でさまざまなあそびを行っており、子どもから大人まで誰でも大歓迎！SNSや口コミで広がりを見せています。



問／みどり公園課
463-0374



市内にある大小さまざまな公園で、子どもたちがのびのびと育ち、また、子育てをする親同士の交流が広がり、子育ての環境がより良いものとなるよう、今後も市民参加による管理運営や、市民と市の協働による利活用を行っていきます。

市内を流れる黒目川の川沿いでは、早朝のジョギングやウォーキングをする人、休日のサイクリングを楽しむ人、ベンチでのんびりとひなたぼっこをする人などが見られます。

かつて30年以上前は、工業排水や生活排水が流れ込む川でしたが、水質の規制などにより、今ではアユをはじめとしたさまざまな魚が見られる清流となりました。

川を上流から下流まで線的、面的に再生を行う「黒目川まるごと再生プロジェクト」により、県、市民団体、自治会と共に、計画づくりから工事完成に至るまでを行ってきました。昨年には遊歩道や案内板、ベンチなどが整備され、人々が四季折々の自然に親しむことができる憩いの場となっています。



黒目川の豊かな自然や環境を守り、育てていくために、継続的な水質環境調査や市民の皆さんとの清掃活動などに取り組みながら、地域の資源を大切に次の世代へ受け継いでいきます。



問／道路整備課
463-0912



自然・環境に
恵まれたまち

問／環境推進課
463-1512